

編集後記

今年度も 36 集を発刊できることとなった。編集者としては安堵に胸をなでおろしている。そして同時にここまで多くの方が投稿してくださったことに心から感謝を申し上げたい。

改めて投稿された論文をみるにつけ、生活科学が、歴史・空間的広がり・多様な要素の相互作用性など様々なものの蓄積により構成されていることを感じさせられる。またこの奥行きや深さが難しいところであり、魅力となるのもあろう。

今後とも生活科学を矮小化せず、しかし科学としての厳格さは維持しながら編集に努めていきたい。

生活科学研究所 研究部主任 星野晴彦